

[illegible]

殊勲の福山機に

一の御

大本營陸軍部に行幸

[illegible]

東亞新體制の建設は 第二國權益と衝突せず

有田外相、英米大使と會談

チユニス問題を重視

軍事的手段を準備

イタリー政府、ドイツに到達

「ローマ報」云々（翌）「外務省」に留伊大使ツッゲンゼン氏を招致して會議せしむるに、イタリヤのラッス間のカニエス問題その他に關しイタリヤ政府はあらゆる非常緊急の場合に對處する準備として軍事的豫備手段を執ることを決定、その旨をマツケンゼン大使を通じてドイツ政府に傳達することになつたといはれる。なほカニエス問題に關してハルワリー首相がヒトラー総統に對し公然と支持を顯したと傳へられるが、これは有力論者に否定されてゐる。

植民地返還に

英下院で
活潑な論戦展開

大分筑波鹿島に

海軍省發表

航空隊を開隊

[illegible][illegible]

協調派と反日派

政廳、軍需輸送禁止嚴命

雲南ビルマ間に

武器輸送開始

ト、特電「七日、強」
ニキスプレス紙「ワル
ナに舉中され、ウクラ
ヨロツベの某國と通
ーリン政權を驅逐せん
が要請し、六十三名の

に於いてはゲ・ベ・ウ
縣は主としてウタライ
遊藝を飯されたといはれてゐる

沿海州に甘萬を集

は、海州南部方面に約
軍を累積中であるが右
軍事事件により、機東軍
が捕虜した結果でウオ
右について朝鮮軍將校は
シベリア地方及アメリカ方面か

ら沿海州方面に兵力を縮
形跡は認められぬが、極
増強により兵力の移動が
事は百肯される、しかし

れはホセツト地獄などは選
が多うこの地方に大兵を集
るなどは全く滑稽なもので
、若しさうとすれば強鼓啼
の敵戦に参謀二カノハした

陸の
荒鷲
平江を猛爆

至二陸軍前鋒江原隊は昨
更に彼の一路に急進、経路、南川
大銅鑛を以て居る東
江を空襲し附近一帯
を略し、沿路上之事務部官舎中の七
十有九戸成之トラック群を掃蕩
之、黎明直後
に病氣船中
江を空襲し附近一帯
を略し、沿路上之事務部官舎中の七
十有九戸成之トラック群を掃蕩
之、黎明直後
に病氣船中

新鎮、雄縣を占領

冀中地方完全に平定

積極的共同動作

國民黨外交政策發見

を盡して藏山支那軍の糧可
破折衝を續けた結果、漸く

我と共にして積極的に
るやう最善の努力を
ばならん

ワクライナに

高級士官六十三名連

ト、特電「七日、強」
ニキスプレス紙「ワル
ナに舉中され、ウクラ
ヨロツベの某國と通
ーリン政權を驅逐せん
が要請し、六十三名の

に於いてはゲ・ベ・ウ
縣は主としてウクライ
ナに於いてはゲ・ベ・ウ
縣は主としてウクライ


沿海州に甘萬を集

は沿海州南部方面に約
軍を集結中であるが右
匪隊事件により極東軍
を痛感した結果でウオ
右について朝鮮軍某部
シベリア地方及アム
方國に於てを現に
アエフ領事の旅行は
されてゐる

フ市に第一赤旗獨立軍司令
官と司令官にはさきの倅殿監
と員長たるシニテルン大將が
又ハ市に第二獨立赤旗軍


大將は莊衛ハルシツ
マナフ大將が司令官
といつても極東軍備の
勢めてゐる

日何君再來
戀愛小説
小説
んはあにみきかひのつひ




雪もよひ
武田 太郎
戀愛小説
武田 太郎

何日君再來
戀愛小説
小説
んはあにみきかひのつひ



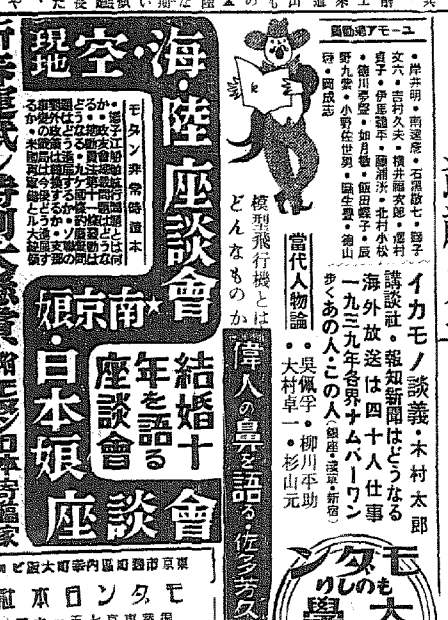
雪もよひ
武田 太郎
戀愛小説
武田 太郎

何日君再來
戀愛小説
小説
んはあにみきかひのつひ



雪もよひ
武田 太郎
戀愛小説
武田 太郎

何日君再來
戀愛小説
小説
んはあにみきかひのつひ



雪もよひ
武田 太郎
戀愛小説
武田 太郎

設原の動力

豫約募集

故事の引用等に必要に應じて簡明適切な註記を施した事 先生
 の文章には日本支那歴史上の人物を拉し来つてその言行に因つて自分の言はんと欲するの意味を代辯せしむる場合が多く、又足跡全國に遍りたため交遊人名・地名等が頗る

これを全部入れて前の缺を補つた。斯くして妙録そのほか他人の詩文等を除いて曲全集内容の全部を収めて徹底的に平易化し犧牲的廉價を以て普及の内容形式を具せしめた。

懸々出來配本開始

第一回配本 第四卷

第一章 武蔵全書摘要、末五
 卷同上(二卷) 武蔵府志、
 武蔵郡圖、武蔵縣志、
 (武蔵府志、武蔵縣志、
 第二章 末五卷、河内、河
 内志、
 第三章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第四章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第五章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第六章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第七章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第八章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第九章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第十章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第十一章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第十二章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第十三章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第十四章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第十五章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第十六章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第十七章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第十八章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第十九章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第二十章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第二十一章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第二十二章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第二十三章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第二十四章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第二十五章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第二十六章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第二十七章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第二十八章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第二十九章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第三十章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第三十一章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第三十二章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第三十三章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第三十四章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第三十五章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第三十六章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第三十七章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第三十八章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第三十九章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第四十章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第四十一章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第四十二章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第四十三章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第四十四章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第四十五章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第四十六章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第四十七章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第四十八章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第四十九章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第五十章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第五十一章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第五十二章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第五十三章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第五十四章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第五十五章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第五十六章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第五十七章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第五十八章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第五十九章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第六十章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第六十一章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第六十二章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第六十三章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第六十四章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第六十五章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第六十六章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第六十七章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第六十八章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第六十九章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第七十章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第七十一章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第七十二章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第七十三章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第七十四章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第七十五章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第七十六章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第七十七章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第七十八章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第七十九章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第八十章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第八十一章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第八十二章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第八十三章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第八十四章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第八十五章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第八十六章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第八十七章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第八十八章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第八十九章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第九十章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第九十一章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第九十二章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第九十三章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第九十四章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第九十五章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第九十六章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第九十七章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第九十八章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第九十九章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百零一章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百零二章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百零三章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百零四章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百零五章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百零六章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百零七章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百零八章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百零九章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百一十章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百一十一章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百一十二章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百一十三章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百一十四章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百一十五章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百一十六章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百一十七章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百一十八章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百一十九章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百二十章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百二十一章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百二十二章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百二十三章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百二十四章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百二十五章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百二十六章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百二十七章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百二十八章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百二十九章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百三十章 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百三十一 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百三十二 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百三十三 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百三十四 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百三十五 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百三十六 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百三十七 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百三十八 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百三十九 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百四十 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百四十一 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百四十二 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百四十三 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百四十四 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百四十五 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百四十六 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百四十七 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百四十八 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百四十九 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百五十 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百五十一 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百五十二 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百五十三 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百五十四 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百五十五 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百五十六 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百五十七 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百五十八 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百五十九 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百六十 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百六十一 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百六十二 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百六十三 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百六十四 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百六十五 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百六十六 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百六十七 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百六十八 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百六十九 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百七十 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百七十一 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百七十二 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百七十三 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百七十四 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百七十五 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百七十六 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百七十七 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百七十八 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百七十九 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百八十 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百八十一 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百八十二 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百八十三 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百八十四 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百八十五 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百八十六 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百八十七 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百八十八 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百八十九 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百九十 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百九十一 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百九十二 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百九十三 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百九十四 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百九十五 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百九十六 武蔵府志、武蔵縣志、
 第一百九十七 武蔵府



懐しの恩師に訣別

志願兵昨夜感激の鹿島立ち

志願兵九百七十五名、昨夜七時五分、鹿島公園に集合し、懐しの恩師に訣別した。志願兵の代表は、恩師の遺像を前に、涙を流して、恩師の遺志を継ぐことを誓った。恩師は、志願兵の成長を喜び、彼らの将来を嘱望した。志願兵は、恩師の言葉を心に刻み、将来の戦いに備える決意を固めた。

勇士に贈る

真綿の下着三萬枚

勇士に贈る真綿の下着三萬枚。これは、志願兵の恩師が、彼らのために用意したものである。真綿の下着は、勇士の勇気を象徴し、彼らの戦いを支援するものである。志願兵は、この真綿の下着を受け取り、恩師の愛と激励を感じた。

大型新車を配備

鈴なり電車にお別れ

大型新車を配備し、鈴なり電車にお別れ。これは、東京市電の近代化の一環として行われている。新車は、より快適で安全な乗車を提供し、都市交通の発展に貢献する。鈴なりの電車は、長い間、市民の生活を支えてきたが、新しい時代を迎え、引退することになった。

バス新路線も計画

バス新路線も計画。これは、東京市電のバス部門が、より多くの地域をカバーするために計画している。新路線は、市民の利便性を高め、都市交通の効率化を図る。計画された新路線は、近々開始される予定である。

アルミ一銭貨

アルミ一銭貨。これは、東京市電が、より安価で高品質な貨物輸送を提供するために導入している。アルミ製の貨物は、軽量化と耐久性の面で優れており、輸送コストを削減する効果がある。導入されたアルミ一銭貨は、市民の生活を便利にする。

不得要領な相

不得要領な相。これは、東京市電の乗客が、乗車時に感じる不便や不満を表現している。乗客は、乗車環境の改善やサービスの向上を要望している。東京市電は、乗客の意見を聞き、必要に応じて対応していく方針を示している。

スポーツ締盟

獨伊の選手を招き

京城で交驛陸上競技會

獨逸とイタリヤの選手を招き、京城で陸上競技會を開催する。これは、日独友好の象徴として行われる。選手たちは、競技を通じて交流を深め、友好関係を築く。京城は、この機会に国際的な注目を集めることになる。

久場島沖に漂ふ

富士號機を發見

搭乗者二名救はる

久場島沖に漂う富士號機の搭乗者二名を救った。これは、海上保安庁の救助隊が、漂流していた機体を発見し、搭乗者を救助した。搭乗者は、救助された後、病院で治療を受けている。この事故の原因は、調査中である。

内台航路初の遭難

搭乗者二名救はる

内台航路初の遭難事故が発生。搭乗者二名が救助された。これは、内台航路の安全性に関する懸念を招いた。航空会社は、事故の原因を調査し、今後の飛行に備える。搭乗者は、救助された後、病院で治療を受けている。

機體引揚げに着手

航空事故防止

機體引揚げに着手。航空事故防止のための措置が講じられている。これは、航空安全を確保するための重要なステップである。機體の引揚げは、迅速かつ安全に行われる。航空会社は、事故の原因を調査し、今後の飛行に備える。

傷兵・遺家族に

鐵道で優遇バス交付

傷兵・遺家族に鐵道で優遇バス交付。これは、戦没者の家族に対する支援策の一環として行われている。傷兵や遺家族は、鐵道を利用する際に優遇を受け、交通費を削減できる。これは、戦没者の家族に対する敬意と支援を示している。

二名を發掘

京線線のトンネル工事

二名を發掘。京線線のトンネル工事の進展が報告されている。これは、京線線の延伸と交通の利便性を高めるための重要なプロジェクトである。工事の進展は、予定通り進んでいる。二名の発見は、工事の安全と進捗を示している。

肺結核

専門の

肺結核の専門治療。これは、肺結核の患者に対する専門的な治療を提供している。肺結核は、適切な治療によって治癒できる病気である。専門的な治療は、患者の回復を促進し、再発を防ぐ。肺結核の専門治療は、市民の健康を守る重要な役割を果たしている。

優良講義録推薦

中風・高血壓

優良講義録推薦。中風・高血壓の予防と治療に関する講義録が推薦されている。これは、市民の健康を守るための重要な資料である。講義録は、中風や高血壓のリスクを減らし、健康な生活を送るためのヒントを提供している。優良講義録推薦は、市民の健康意識を高めるための取り組みである。

金儲と利殖の早道

金儲と利殖の早道。これは、市民の資産を効率的に増やすための方法を提案している。金儲と利殖は、市民の生活の質を向上させる重要な手段である。早道は、市民の資産を迅速に増やし、将来の生活に備える。金儲と利殖の早道は、市民の経済的な自立を促進する。

三木アピ

ンガルオ

三木アピ。ンガルオ。これは、市民の生活に役立つサービスを提供している。三木アピは、市民の生活の質を向上させるための重要な取り組みである。ンガルオは、市民の健康と安全を守るための重要な取り組みである。三木アピとンガルオは、市民の生活をより良くするための重要な取り組みである。

